



リニューアルした日身連のホームページ(トップページ) <https://www.nissinren.or.jp/>

このたび、日身連のホームページをリニューアルしました。これまでの情報に加えて、より親しみやすいイラストやわかりやすいデザインを取り入れ、中央障害者社会参加推進センターに関係する項目を増やすなど、情報の充実にも力を入れました。

2017年以降、約6年ぶりとなるリニューアルは、デザインの全面的な見直しを行い、トップページを充実させたほか、「中央・地方障害者社会参加推進センター」や「身体障害者相談員全国連絡協議会」「調査活動情報」「国等の会議への参画」などの情報項目を新たに増やし、より日身連の活動内容をわかりやすくお伝えできるように工夫をしました。

とくに、社会参加推進センターに関するページでは、地域の取組として、地域における障害理解を広げる活動や、スポーツ・レクリエーション、文化芸術活動など、さまざまな障害者の社会参加を推進する活動を紹介しています。こちらのページは今後も、各地域から情報提供をいただきながら一層充実させていく予定です。

日身連のホームページがリニューアルしました



発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
ディアダックビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

令和6年度報酬改定に向けヒアリングを実施

令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定に向け、障害福祉サービス等報酬改定検討チームにおいて7月12日から8月9日の間の6日間、45団体の障害関係団体に対するヒアリングが行われました。出席できなかった2団体については、検討チームに対して意見書が提出されました。

ヒアリングでは、4つの視点について各団体から発言が行われました。

視点1 より質の高いサービスを提供していく上での課題及び対処方策・評価方法

視点2 質の高い人材確保を含めたサービス提供体制の確保に向けた課題及び対処方策

視点3 持続可能な制度としていくための課題及び対処方策

視点4 ICT活用等の業務の負担軽減・効率化に向けた課題及び対処方策

日身連では、ヒアリングに先駆け加盟団体へアンケートを実施し意見書を取りまとめました。そして、7月31日に行われたヒアリングに阿部一彦会長が出席、意見を述べました。阿部会長からは、視点1として、生活介護事業における入浴サービスの重要性を挙げ、利用者の衛生管理の面から改善が急務であり、サービスを実施していない事業者が多数あることを指摘、入浴サービスの促進を図る上で2段階評価といった適切な評価体制の検討を求めました。また、グループホームについて、身体障害者が入居できる環境整備の立ち遅れは是正と身体障害重度の方も入居できるグループホーム増のため、バリアフリー化に係る補助の見直し等について意見しました。視点2としては、居宅介護の人材不足や、通所・入所施設の職員確保の問題改善に向け、抜本的な報酬費の見直しを訴えました。また、バーンアウト等による離職者の増加解消に向けて雇用システムの構築や給与の引上げ、能力に応じた段階的な報酬の検討、同行援護等居宅介護の介助員に配偶者控除や社会保険の壁のある人が多いことを踏まえ、人材確保の観点から所得に関する要件緩和等の措置が講じられるよう求めました。加えて、相談支援充実の観点から相談支援事業者の単独運営を可能にし、専門員の増員が可能になるよう報酬単価の増額、処遇改善加算対象の検討の必要性を述べました。

視点3としては、就労継続支援B型事業所における課題として、アビリンピックや全国障害者スポーツ大会等へ出場する利用者への支援評価を報酬単価と結びつこう配慮する必要性について意見しました。視点4としては、事業所の多忙な業務改善としてICTを活用し、書類作成や支給決定手続を簡素化し、安定的な運営に向けた環境作りについて意見しました。

今後は、検討チームにおいて、来年2月の報酬改定案の取りまとめに向け検討が行われる予定です。